

道路の里親で 県知事表彰



「道路里親制度」は、県管理の道路を「里子」に例えてボランティア団体に「里親」になってもらい、道路の清掃や除草などを行ってもらおう制度です。

山方地域のボランティア団体「三太の道愛護会（会長木村真一郎さん）」は、平成15年度から山方地域内の国道118号の2.3kmと主要地方道常陸太田烏山線上約1.2kmの里親になり、沿道の草刈りやゴミ拾いなどを行っていました。

このたび、その功績が認められ茨城県知事表彰を受賞しました。愛護会の皆さん、受賞おめでとうございます。

交通安全映画会

交通安全映画会が8月4日（木）、美和工芸ふれあいセンターにおいて開催されました。これは、夏休み期間中の子どもの交通事故防止や青少年の健全育成、明るい家庭と住みよ

い地域づくりを目的に、美和地区交通安全母の会の主催で実施されたもので、当日は、小学生を中心に約100人が来場し、大宮警察署積沢駐在所警察官の村田さんによる、正しい自転車の扱い方の講話もあり、夏休み期間中の交通安全について学びました。

また、8月8日にも、宿里ふるさとコミュニティセンターにおいて同映画会が開催され、約70人が来場しました。

交通安全街頭キャンペーンと道路のこさ払いを実施

7月20日から8月20日まで「夏の交通事故防止県民運動」が実施され、緒川地域でも運動の一環として、8月5日に国道293号（物産センターかざぐるま前）で交通安全街頭キャンペーンを関係機関の協力を得て実施しました。

また、同時進行で地域内の主要幹線道路のこさ払いを、大宮土木事務



▲道路でのこさ払いの様子
※こさ払いとは、東日本限定で使われている方言で、道路や田畑の周りの邪魔な枝を払うことを言います。

所や地域内建設業者、消防本部、JA茨城みどり、小瀬高校、緒川中学校、小瀬・八里小学校、安全協会緒川支部、緒川総合支所職員で実施しました。

今後も、「交通事故ゼロ」を目指していきますので、ご協力をお願いいたします。

歴史が繋ぐ 600キを結ぶ友情

8月8日から2泊3日の日程で、大宮小学校5年生44人と長倉小学校同18人が、秋田県大館市へ訪問し先方の城南小学校と桂城小学校の児童と交流しました。



▲きりたんぼ作りに挑戦

大館市には「部垂町」、「長倉町」という地名があり、それは、佐竹氏の常陸国から秋田への国替えによってできたものと言われています。

もともと、大宮小と城南小が、「部垂」の名が縁で平成13年度から相互訪問により交流を深めてきており、今回「長倉」の縁で桂城小と長倉小も参加し、交流にも新たな広がりが見られました。

児童たちは、大館市到着後セレモ

ニーで歓迎を受け、その後市内の名所巡りに出発。2日目は、大宮小児童が学区内に「部垂町」がある城南小を、長倉小児童が「長倉町」のある桂城小を訪問。各校それぞれにおいて交流を深めました。

また、4校合同でニュースポーツ交流会やきりたんぼ作り体験も行われ、児童たちの距離もいつそう近づいたようです。

夏休みを一緒に過ごした児童たちは、「しゃべり方が違うと思った」や「遠いけれど心は通じている気がする」など、600キを隔てた友情の輪を広げ、良い思い出が作られたようです。

水泳教室が人気

夏休み期間中の7月22日～31日まで、大宮地域水泳教室が大宮西小学校プールで開講されました。

教室には、大宮地域の小学3～6年生約1000人が受講し、市の体育指導委員の皆さんの指導のもと水泳を楽しみました。最終日には記録会も行われ、それぞれ自分の記録に挑戦しました。



ふれあいの船 チャレンジ！北海道5日間

(B班) H17. 8. 22～8. 26



▲ 8月22日 出発式 (あいさつを述べる藤田美穂さん)



▲ 8月23日 白老ポロトコタンにてアイヌ文化体験

▶ 8月24日 洞爺湖火山の火口見学
「陥没や隆起した道路を見て「自然の力の大きさ」に驚きました



▲ 8月24日 環境学習として植林体験
有珠山系火山に緑を！

ふれあいの船の出発を迎えて

大宮小 藤田 美穂

私は初めてふれあいの船の話聞いたとき、本当にうれしい気持ちになりました。友達と一緒にいけるのが一番の理由でした。長い時間船で一緒に過ごしたり、北海道でグループごとに活動したり、同じ部屋に泊ったりして、楽しい思い出がいっぱいできるだろうなあと思いました。その後、体験学習のコースを選んだり、グループを決めたり、説明会で話を聞いたりしているうちに、楽しみな気持ちがだんだん大きくなってきました。

そして今日、いよいよ北海道に出発する日になりました。この4泊5日のふれあいの旅では、楽しい経験のほかにも色々な経験をすると思いますが、その経験は、私たちのこれからの生活にきっと役立ってくれると思います。

これまでいろいろ準備して下さった皆さんに感謝をして、楽しい思い出をたくさん作ってきたいと思います。そしてスローガンの「いつまでも 心に残る 思い出を」目指して、みんなで協力してがんばってきたいと思います。

合併以前から、山方、緒川地域で小学6年生を対象に実施していた事業を引き継ぎ、「ふれあいの船」事業として実施しました。前半(A班)と後半(B班)の2班に分かれ、約400人と引率者(先生・高校生・大学生等)43人で北海道・道南方面へ5日間(船中2泊)の旅へ出かけました。

B班は台風11号の影響で復路は船から列車に変更となりましたが、みんな心の中にいっぱい思い出をつめ込んで楽しく元気に帰って来ました。

参加した児童一人ひとりが、普段の学校生活では得ることのできない貴重な体験や、中学進学前に市内のたくさんの児童と友情を深めることができた5日間でした。

(ふれあいの船実行委員会)